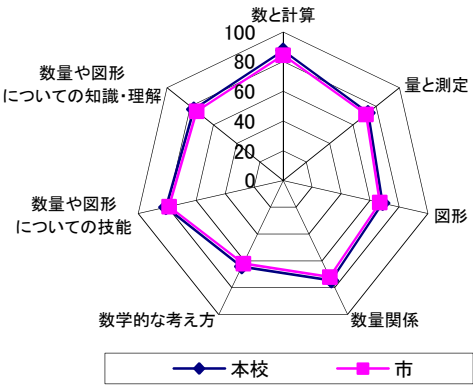


宇都宮市立豊郷中央小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	87.5	84.3
	量と測定	73.0	71.3
	図形	68.5	66.7
	数量関係	74.7	72.1
観点別	数学的な考え方	64.3	62.0
	数量や図形についての技能	80.9	78.8
	数量や図形についての知識・理解	77.0	74.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○全体的には市の平均を3.2%上回っている。特に、計算問題に対しては誤答が少なく、分数、小数の乗法と除法の混じった計算に関しては全国平均を18.3%上回っており、習熟が図られていると考える。しかし、単位量当たりの数を求めるための文章問題では、乗法と取り違えている児童が多くみられ、市の平均を下回っている。	○計算力はおおむね向上しているが、分数の計算において約分を忘れるものも見られるので、計算問題に多く取り組ませることでさらに正確さを求めていく。また、文章題の練習問題も取り入れ、正しく読み取る力を身に付けさせるようにしたり、単位量当たりの問題も数直線を使って意味をとらえさせながら「順序良く考える力」を養ったりすることで、学習内容の習熟を図っていく。
量と測定	○全体的には市の平均を1.7%上回っている。しかし、内容的に見ると「速さ」「時間」「道のり」の関係を正確に理解していないために、道のりを求める式を適切に選択することができていない。また、速さの単位の関係も、「分速」「秒速」「時速」の換算を苦手としている児童も多く、平均正答率は8割を切っている。	○市全体を考えると、この領域を苦手とする児童が多いと思われる。「速さ」の学習をする際には、「単位量当たり」の問題と深くかかわってくるのでその復習と、数直線や図などを用いて自分で説明する活動を増やしなが意味をとらえさせていくことで、定着を図っていく。また、「秒速」「分速」「時速」の換算の練習問題を多く取り入れ、学習内容の習熟を図る。
図形	○全体的には市の平均を1.8%上回っている。特に、円を使って正多角形の求め方を正しく理解している。しかし、円に関係する公式を正確に理解していないために、円周を求める式を適切に選択することができていない。また、対称の軸が何本あるか求める問題では、向かい合う頂点を結ぶ軸は見つけられたが、向かい合う辺の中心を結ぶ軸を見落としたための誤答が多かった。	○「円の面積」を求めるための考え方について学習する際に、「円周」を求めるための考え方との比較も取り入れ、違いを明確にしていく。その際、具体的な例を示し、それぞれについての問題を解きながら指導する。また、対称の軸の見つけ方については、実際に図形を折って求める体験活動を多く取り入れ、見落としやすい軸について確認していくことで、学習内容の定着を図っていく。
数量関係	○全体的には市の平均を2.6%上回っている。特に比の値を求める問題においては97%の回答率である。しかし、全体に対するある割合の数(比較量)を求める問題において「全体を一としたとき、そのうちのいくらにあたる」という百分率を正しく理解していないために、誤答が多い。	○比較量を求める学習の際には、具体物や数直線を用いて整理する活動を多く取り入れ、百分率について正確に理解できるよう指導する。また、実生活に結びつけた問題を解くことで割合の意味を定着させ、新聞の折り込み広告などを活用して問題をつくりお互いに解いたり、同じ商品の割引の後の値段の比較をしたりして、習熟を図る。